

大津波支援 10年で1億円

大和証券グループは、スマトラ沖大地震とインド洋大津波の復興支援として、インドネシア、スリランカ、インドの被災3カ国の民間団体を対象に、05年度から10年間にわたって総額1億円を助成する。公益信託基金のアジア・コミュニティ・トラスト(ACCT)を通じて、子供の心のケアなどを支援する。ACCT事務局長の伊藤道雄・立教大特任教授は「民間企業が長期の災害復興支援にかかわるのは極めて異例で、『国民支援』のモデルケースになる」と評価している。

大和証券グループが助成

ACCTは、一般から広く募った寄付金を積み立て、公益活動に充てる国の心のケア②子供の教育内初の「募金型公益信託」として79年に設立された。これまでアジア10カ国で民間主導の開発事業など404件、計約3億7000万円の支援実績がある。吉田太郎・元アジア開発銀行総裁ら5人の専門家で作る運営委員会が指導・助言を行っている。

大和証券グループはACCTの基金としては過去最大級となる「大和証券グループ津波復興基金」を設定。2014年度までの10年間に毎年100

子ども心のケアなどに

【若島正浩】

向け
向通
国金
力基
3信
アジ
公益